

- 当市には森林がないことから、県産材を利用した公共施設整備及び森林の大切さを普及啓発する事業に、森林環境譲与税を活用することとしている。
- 令和5年度においては木材利用の普及啓発活動として、子どもたちにSDGsについて身近に感じてもらう機会につなげるために、市立小中学校全児童生徒に石川県産の杉の間伐材を使用した木製バッジを贈呈。
- 令和6年度においては「ののいちサステナブル住宅支援事業」として「ののいち木のぬくもり住宅」補助金制度を創設し、野々市市内に居住するために木造戸建て住宅を新築（購入も含む）または増改築する方に対し補助金を交付し、県産材利用の促進を図る。

□ 事業内容

木製バッジの贈呈

- ・“ののいちっ子を育てる”市民会議へ贈呈。市民会議から市立小中学校全児童生徒に配布された。

【事業費】1,300,000円（全額譲与税）

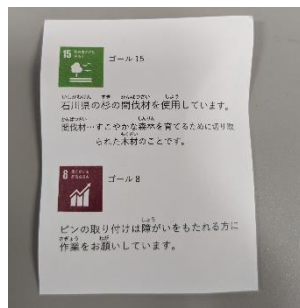
【実績】木製バッジ（7,000個）

□ 取組の背景

- ・当市には森林がないため、他の市町村と比べ木に触れ合う機会が少ない。子どもたちに木製品などを通して、木材の良さに関心を持ってもらうことで、森林の循環等のSDGs教育を推進するため、森林環境譲与税を活用し事業を実施。



木製バッジ



台紙

□ 工夫・留意した点

- ・SDGsについて身近に感じてもらうため、17のゴールについて記載した台紙を同封した。
- ・野々市市公式キャラクターの「のっティ」や「あいさつ運動」「愛と和」などの文字をデザインし、親しみやすいデザインとした。
- ・バッジのピンの取り付けは、障害福祉サービス事業所に依頼しており、障害のある方の就労にも寄与。

□ 取組の効果

- ・森林環境譲与税制度のPRとなった。
- ・児童生徒からは、SDGsについて考えるきっかけとなったとの声があった。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：6,420千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：57,238人	⑤林業就業者数（※2）：3人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より